

報道関係者各位

不妊治療テクノロジー協議会

先端技術で"命の誕生"に寄与する企業が結集

『不妊治療テクノロジー協議会』を発足

産官学民と連携し、不妊治療の課題解決および生殖医療産業の発展へ

先端的な不妊治療技術に関わる企業が集まり、医療機関や学会、そして関係省庁等と連携し、 不妊治療の課題解決および生殖医療産業の発展に貢献することを目的に、2025 年 10 月、 「不妊治療テクノロジー協議会(以下、当協議会)」を発足いたしました。

当協議会発足の背景や目的、活動内容等は以下の通りです。

◆理念

「先端テクノロジーで、命の誕生に新たな希望を。」

◆発足の背景と目的

2022 年 4 月より不妊治療の保険適用範囲が拡大し、年齢制限による回数制限等はあるものの、体外受精や顕微授精といった高度な不妊治療も受けやすい環境になってきています。一方で、保険適用となる検査や治療だけでは妊娠・出産に至るのが難しい方、また保険適用条件に当てはまらず、自由診療で不妊治療に取り組まれている方も多くいらっしゃいます。特に近年、女性の社会進出や晩婚化により、妊娠・出産を希望されるタイミングが高年齢化する傾向にあることも一因と考えられ、今後、より高度かつ先端的な医療技術を必要とされる方が増えることも予想されます。

― 不妊治療の先端技術の啓発、普及促進

先端技術の多くは保険適用になっておらず、保険制度という枠組みの中で必要とされる患者様に必要なタイミングかつ金銭的負担の少ない形で提供するには多くの課題が存在します。 当協議会では、関連省庁や学会、医療機関、そして最新のテクノロジーで不妊治療の課題解決に取り組む企業・組織と連携し、子どもを授かりたいと願う患者様に必要な医療技術を最適な形で提供できるよう協議・政策提言等を進めてまいります。そして、これらの取り組みは、日本が抱える少子化課題解決の一助にもなると考えています。

一 生殖医療産業の発展への貢献

日本の不妊治療技術は高水準で高い国際競争力を持つ一方、経済的な成長面では他国に一歩 出遅れています。当協議会は、新たな医療技術の啓発活動や普及促進を通し、生殖医療産業 の発展にも貢献していく所存です。



◆主な活動内容



不妊治療テクノロジーの 普及促進

業界を横断した連携を加速 化させることにより、先端 的な不妊治療技術の世の中 への普及を促進する

政策提言・ アドボカシー

左記を実現するための適切 な規制の実現に向けた政策 提言を行い、官民連携で業 界全体の発展に寄与する



メディアとの協業・ 啓発活動

不妊治療テクノロジーの社 会的効用や重要性を広く発 信し、社会全体での認知向 上を図る

◆政策提言

主に、以下5つの政策提言を検討しています。

①患者負担軽減のための制度改定と既存制度活用の促進策:

例えば、自由診療でも保険で採卵された卵子を一部活用できるような制度改定や、先端的な 不妊治療技術の先進医療認定・保険適用拡大による患者負担の軽減

②不妊治療・検査技術の保険適用までのロードマップの明確化:

2022 年の一部保険適用化や、治療方法の個別化、既存の枠組みに当てはまらない技術の多さ等の診療科の特性を考慮し、研究開発から先進医療や保険収載を通した普及までに、関係各所が必要な具体的な道筋を明確にする

③先進的な不妊治療技術の研究開発への支援拡充:

妊娠率・出生率の向上に寄与する先進的な技術の実用化を促進し産業の成長を後押しするため、国内での研究開発や、海外での実証・海外展開に対する支援を拡充する

④産官学連携での不妊治療・検査・プレコンセプションケアの推進:

未婚・若年女性や男性も含めた不妊治療の認知・受診を拡大するため、プレコンセプション・ 検査キットや、早期の不妊治療・検査を推進するための広報活動を強化する

⑤国や先進的な自治体の取組の全国展開:

厚生労働省・こども家庭庁や、東京都等の不妊治療に対して先端的な取組を行う自治体と連携し、全国の自治体での支援強化に向けた政策の波及を行いたい

Tel: 080-7126-5262 / Mail: hwakabayashi@varinos.com



<不妊治療テクノロジー協議会 概要>

名称	不妊治療テ	クノロジー協議会	発足	2025年10月
ウェブサイト	https://fertilitytech-jp.com/		加盟社数	8 社 *2025 年 10 月 29 日時点
加盟企業 *2025年10月29日 時点 *50音順	幹事企業 代表理事	Varinos 株式会社		Varinos Varinos
		"ゲノム解析技術を通じて、家族の未来をつくる"をミッションに、臨床検査サービスの開発と提供を行う。不妊治療領域においては、妊娠率や出産率に影響すると言われている子宮内フローラに着目し、菌の種類と割合を調べる「子宮内フローラ検査」を 2017 年に世界で初めて独自開発・臨床検査として実用化 (2022 年 6 月、先進医療に認定)。 https://varinos.com/		
	理事	株式会社 Dioseve		Dioseve
		株式会社 Dioseve (ディオシーヴ) は iPS 細胞を用いた生殖細胞の研究開発を行うスタートアップ企業。ヒト iPS 細胞から卵巣細胞を作製する技術を保有しており、これを未成熟卵子と培養することで卵子を体外で成熟させる製品を開発。これにより患者の通院回数や投薬量が削減され、誰もが不妊治療にアクセスできる社会の実現を目指す。		
		https://dioseve.com/		
		株式会社メデタ		♦♦ medeta
		「アジアから、生殖医療者の技術をデジタルの力で拡張し、世界中に届ける」をミッションに、IVFにおいて、移植する胚の選択を非侵襲で行う AI 解析と、臨床データ管理ソフトウェアを軸に事業を展開するスタートアップ。山口大学・奈良県立医科大学発の研究をもとに技術開発を行い、日本はもちろん台湾・シンガポール・インドネシアなどアジアの医療機関や研究施設にパートナーシップを広げている。		
		https://medeta.co.jp/		
		株式会社アークス		© ARCS
		2022 年創業。AI とロボティクスを核に、生殖補助医療(ART)工程の効率化・標準化を実現する製品を開発・提供する、東京科学大学(旧・東京医科歯科大学) 認定ベンチャーです。ART 需要の拡大に伴う熟練胚培養士の不足が世界的に懸念される中、医療現場の負担を軽減し、均質で高品質な医療提供を支えることで、「子どもを望むすべての人々が子どもを授かる世の中」の実現を目指しています。 https://www.arcs-inc.jp/		

Tel: 080-7126-5262 / Mail: hwakabayashi@varinos.com



株式会社アステック	astec Incubate the Future with You		
(株) アステックは、生殖医療用イン技術を強みに、AI 画像解析やデジタ企業です。世界 50 か国以上へ製品を治療アクセスの改善に貢献、家族を望実現を目指します。	マルラボ化を推進するグローバル を提供し、治療成果の向上と不妊		
https://www.astec-bio.com/			
 株式会社総医研ホールディングス 	∮ 50∲KEN		
主として健康食品や機能性食品の開発および販売を行う事業、試験受託事業、そして健康経営支援サービスを提供しています。子会社である NRL ファーマでは、胃で分解されず腸まで届く腸溶性ラクトフェリンの研究開発を進めており、妊娠率や出産率に影響すると言われている子宮内フローラの改善に関する特許を取得。フェムテック領域への応用を推進しています。 https://soiken.info/			
株式会社ニコンソリューションズ ニコンは、少子化に伴い生殖補助医技術支援を強化しています。胚培養減に寄与することと操作精度向上ICSI/IMSI専用顕微鏡「ECLIPSE Ti2年にリリース。胚培養士の方々の顕関わる工程数を約75%削減。高精度明な観察も実現し、生殖補助医療分に貢献します。 https://www.nsl.nikon.com/jpn/	を士の負荷軽 を目的に、 2-I」を 2024 頁微鏡手技に gな操作と鮮		
株式会社 BeLiebe	<i>₹BeLiebe</i>		
バイオテクノロジーを活用し、女性のキャリアに新しい選択肢を創出します。 「EggU (エッグ)」という自宅用卵子検査キットと助産師や看護師ら専門家によるカウンセリングを提供。 女性が自分のからだを知り、キャリア形成や妊活のタイミングを自信を持って選べるよう支援。 将来の妊娠に備えた不妊予防・プレコンセプションケアもサポートし、企業や医療機関との連携による周囲の理解促進にも取り組みます。 https://beliebe.co.jp/			

Tel: 080-7126-5262 / Mail: hwakabayashi@varinos.com